

～第10回(平成22年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生の通学手段

学部生は徒歩のみとマイカーで9割強

学生の通学手段は、学部生が「徒歩のみ(47%)」「マイカー(44%)」、大学院生が「マイカー(43%)」「徒歩のみ(32%)」の順となった。前回調査(平成20年度)では、学部生は「マイカー」が「徒歩のみ」を上回ったが、今回で再び逆転したのは、学部生の寄宿舎入居率の増加が影響している。また、これまでの調査と同じく、公共交通機関利用の割合は低い。

通学アクセスに関する要望は、学部生、大学院生共に「現状で満足」が多いものの、「バスの増便」「循環バスの導入」を求める意見も多かった。そこで、今年度から神戸(三宮)と大学を結ぶ「神戸エクスプレス便」を新設するとともに、大学と加東の市街地を結ぶ「カレッジバス(買物バス)」を循環ルートに拡張した「加東ループ便」とするなど、学生の通学や生活の利便性の向上に努めている。

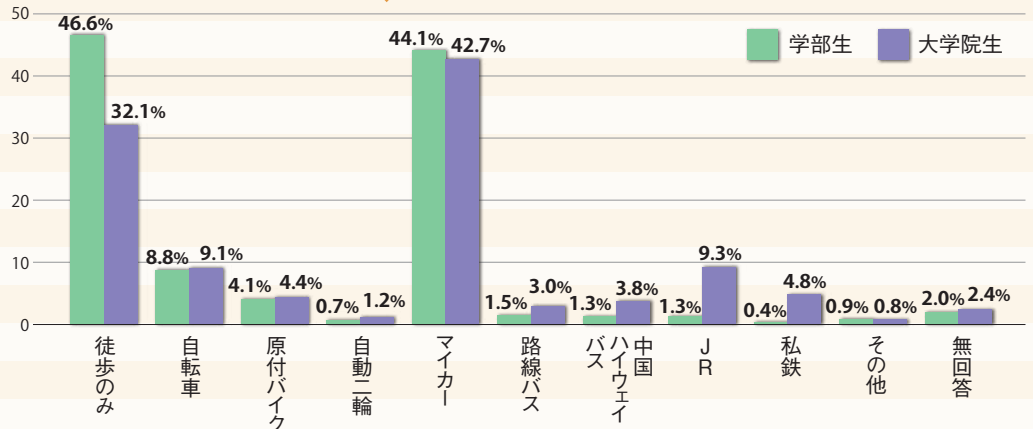
学生の要望に応えたい



ふくだ みつひろ
福田光完
副学長

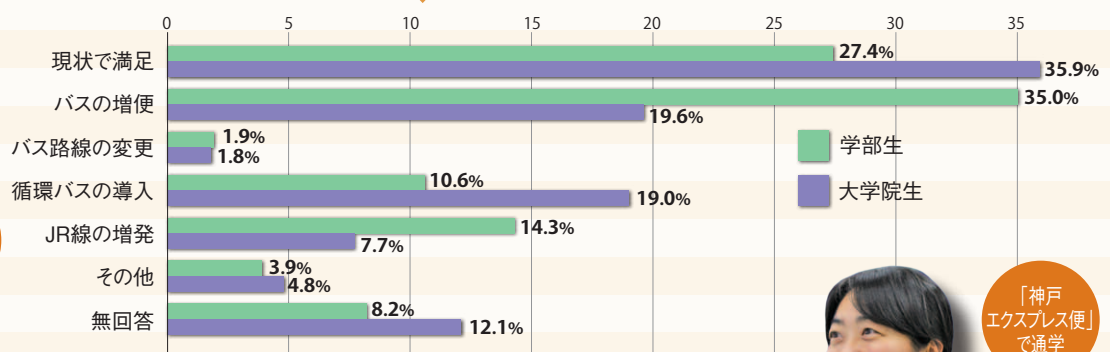
加東キャンパスは自然に囲まれ、学習環境として恵まれている半面、公共交通機関は十分ではありません。マイカーのない学生が食料品や日用品の購入に苦労しているという声が多かったため、昨年度から平日3便のカレッジバス(加東ループ便)が市内を走っています。今春からは神戸方面からの学生の要望に応え、三宮-大学間の通学バスを朝夕走らせています。来年度もバス通学希望の学生数を的確に把握して運行を決めたいと考えています。

通学手段は?



私たち留学生はマイカーを持っていない人が多く、加東ループ便は日常生活になくてはならない存在です。バスがないと、自転車で長い坂道を通って買い物に行かなければなりませんし、交通事故に遭う危険性だってあります。バスのおかげで毎日、楽に買い物ができ、本当に助かっています。今後も重宝させていただきます。

通学アクセスに関する要望について



とう か び
湯佳美さん
大学院修士課程
文化表現系教育コース2年

「加東ループ便」で買い物

直通便なので乗り過ごす心配もなく安心して乗って(寝て?)いられるのが気に入っています。マイカーで通っていたころは必要以上の荷物を持ち、日付が変わっても大学にいましたが、バスに代えてからは荷物も時間の使い方もスマートになりました。バスの一番の魅力は車窓からの眺めです。「日本昔ばなし」に出てきそうな一面に広がる田んぼとかやぶき屋根の家、夕日に映えるつくはら湖と湖水に足を浸すようにそびえる山々。雨の日、大きな窓を額縁代わりに仰ぎ見る帝釈山は、まるで水墨画のような趣があります。一見の価値ありです!



よし だ ゆ き
吉田由貴さん
大学院修士課程
臨床心理学コース2年

「神戸エクスプレス便」で通学